資料８

**令和４年度　万博記念公園マネジメント・パートナーズ　事業実施計画書（抜粋）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **◆今年度の取組方針**2021年度は2020年度以上にコロナ感染が拡大し、2か月以上の休園を余儀なくされるなど、結果、当初計画していたことはほぼ実施できませんでした。2022年度は2021年度の基本的な考え方を踏襲しつつ、公園ビジョンの再策定を念頭におき、2025万博との連携強化・DX化推進協議・SDGｓなどをキーワードに「大阪都市魅力創造戦略2025（以下「戦略2025」という）で示されている基本的な考え方のもと、フェーズに応じた取り組みを以下の通り推進していく。【基本的な考え方】多様な主体が連携し、万博記念公園エリア全体を活性化安全・安心で持続可能な魅力ある公園の実現大阪・関西万博のインパクトを生かした魅力の創造・発信【フェーズに応じた取り組み推進の考え方】■フェーズ１（ウィズコロナ） →2021年度計画を想定緊急対策期／反転攻勢 準備期・感染防止対策を最大限に講じつつ、国内の観光需要の喚起等に向けた取組みを推進 ・ウィズコロナに対応した新たな魅力の創出、反転攻勢に向けた準備、基礎固め、受入環境整備等を着実に実施■フェーズ２（ポストコロナ）→2022年度計画以降を想定反転攻勢期・ウィズコロナ期における取組みを土台に、地元住民に加え、国内全体の観光客、将来的なインバウンド需要も対象とした誘客を促進するなど、2025年に向け取組みを加速度的に推進し、賑わいを創出【内外からの誘客に関する数値目標】戦略の数値目標として、「内外からの誘客」に関し、「大阪の再生・成長に向けた新戦略（2020年12月）」と整合を図りつつ次のとおり設定する。なお、これらは感染症の状況による変動要因が大きいため、当面の間、新型コロナウイルス感染症発生前の水準（2019年実績）を上回ることを目標とする。※ 先行きが見通しづらい状況を踏まえ、社会経済情勢等の変化に応じて目標値、達成をめざす時期等について、適宜、追加・修正を行うなど必要に応じて柔軟に見直しを行っていく。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 目標値（2019年度実績） | 達成を目指す時期 |
| 来園者数（自然文化園） | 236.5万人 | 2022年 |
| 外国人来園者数 | 1.7万人 | 入国規制解除から2年後 |

2021年度は前年度以上に感染拡大した新型コロナウイルスの影響で、多くの事業が再度中止となり経営は予断の許さない状況が続いている。そのような中、2022年度は、改めてフェーズ１を「緊急対策期／反転攻勢 準備期」と位置付け、経営の健全化と新しい生活様式に基づく、安全で安心して利用できる公園を目指す。経営の健全化のためには、新様式での公園利用の推進で最大限の集客を行うことと、継続して経費削減を行っていく必要がある。集客においてはまだ全世界的にコロナ感染が広がっているため、前年度に引続き国内を重視して、集客活動を行っていく。また、前年同様に各公園内施設や民博・近隣施設などと協力し、セット券の販売を積極的に推進し、販路を拡大していく。また、前年度好評を得た、紅葉祭り開催時の日本庭園でのライトアップを応用して、夏のイルミナイトに代わる仕掛けを検討するなど新たな集客コンテンツを検討していく。経費削減においては、前年度行った新型コロナウイルスへの臨時対応の継続や大阪府との業務分担の明確化により安全・安心を損なうことの無い仕様で上質なサービスを提供していく。2023夏パビリオン新館がオープンする予定のため、その運営方法や料金設定を大阪府と協議していくとともに、来園者サービスの向上などのために入園料の改定についても引続き協議していく。安心・安全面において、万博の森の木の伐採などを大阪府と推進し、安全対策を講じるとともに、森の新たな活用方法を大阪府と協議していく。　これら経費縮減と入園料改定により「安全・安心で持続可能な魅力ある公園の実現」に注力したい。また、アリーナ建設に伴う中央駐車場移設計画について、利用者・周辺住民の利便性を損なわぬよう、事業者・大阪府・周辺施設と連携して慎重に計画を策定していく。最後に引続き「大阪・関西万博のインパクトを生かした魅力の創造・発信」のため、公園のDX化計画等、反転攻勢に向けた準備、基礎固め、受入環境整備等を着実に実施したい。※尚、202２年度においても、コロナウイルスの影響により投資計画・本事業計画に記載する取組事業に大きな影響を及ぼすことが予想されます。今年度実施不可能となった投資・事業においては、大阪府と協議し次年度への繰越や事業の中止等の決定を適宜行います。 |
| **◆今年度の広報戦略****年間広報実施計画書****１）ホームページの適正化****・**ホームページ各コンテンツの閲覧状況を分析し、閲覧数を上げるためにシンプル化・見やすさを継続的に改善し、一般投稿収集サイトのSNSとの連携を積極的に図る。・太陽の塔の予約サイトについても、昨年に引き続き、当日入館などの塔現場でのフレキシブルな運用改善を行っていくと共に在庫の有効活用の為、万博エリア内他施設とのオンライン上での事前セット販売も検討する。**２）教育旅行を中心とした団体向け体験プログラムコンテンツの商品造成**・現状の公園、周辺事業者と連携した体験コンテンツを中心としたグループ向け商品を造成・SDGsと健康をキーワードにした公園の魅力配信による商品の検討　・2025万博と連携した「学び」プログラム開発の検討**３）WEB　SNSでのデジタルプロモーションの実施**・公園オフィシャルのYoutube・Instagram　Facebookの配信内容を過去の閲覧データ数などを検証し、インスタ写真コンテスト等のＷＥＢ参加型イベントを実施する事により閲覧数のアップと集客につながる内容に変更し積極的に配信する。各SNS間で配信内容の連携をする事でファンの増加を図る。・Gotoトラベル商品等の広報と連動したWEBチケット販売のさらなる展開　・イベント告知集客ＷＥＢサイト（イベントバンク等）を活用したプレスリリース、SNSでのニュース配信の実施　・大手検索ＷＥＢサイト、旅行、レジャー関連WEB媒体での記事広告掲載の検討**４）各電鉄会社の駅掲示板等を活用した広報展開**・各電鉄会社の駅掲示板等を活用した広報展開は、大阪府と共に掲示枠の確保等の調整と　　セット券の発売などの鉄道広告を活かした広報展開の実施**５）メディア及び関係機関への情報発信調整**　①マスメディアとの調整　・バラエティ番組、音楽、料理、子ども番組、ドラマ、映画、ドキュメンタリーなど、多彩なジャンルの番組において、特集企画、ロケ誘致などを積極的に実施。　・パブリシティ活動の一環として実施する報道資料提供については、大阪府と協議の上、報道提供に向けた準備作業を行います。　・マスメディアから番組出演やインタビュー収録などの説明要請があった場合には、真摯に対応します。なお、今後の公園運営に影響を及ぼす可能性のある内容に関する説明要請があった場合には、大阪府と対応を協議します。　・取材のために来園した報道機関等とは、当該取材のみならず、それ以後の公園の情報発信強化の観点から、連携関係の構築に努めます。②大阪観光局や吹田にぎわい観光協会等との観光関係機関との調整　・大阪観光局や吹田にぎわい観光協会などの大阪府内外の公的な観光関係機関と連携して万博記念公園のＰＲを実施します。 |
| **◆太陽の塔****予約セット券の販売**　　太陽の塔オフィシャルサイトで予約のお客様は、2021年度6月から入園料とのお得なセット料金で提供しました。当日券よりお得な料金で提供することで、予約客の増加を図ると共に利用者サービスの向上を実現しました。更に、2022年度は期間限定の企画（例：秋の日本庭園ライトアップ）とのセット券造成等を企画します。**◆EXPO’70パビリオン****企画展の基本方針**2021年度に実施したアンケート結果で「初めて来館される方が多い」「ファミリー層や若年層」の来館が多いことから、コアターゲットとして、ファミリー層・若年層と設定する。アクティブな現役世代層に対しての集客を図るため、「体験型コンテンツ」を中心に企画する　　 **EXPO’70パビリオンツアーの企画**　　　EXPO’70パビリオンを起点とした園内ツアーを企画します。園内のパビリオン跡などの説明や、新施設の体験、園内レストラン・カフェでのお食事、パビリオングッズのプレゼント等を実施して、「万博記念公園」を満喫していただけるよう取り組みます。**◆日本庭園****日本庭園の施設魅力化**前年度は新型コロナウイルスの影響で実施出来なかったが、202２年度は引き続き計画を進める。・中央休憩所の庭園景観を存分に感じて頂ける和風カフェへの改装。中央休憩所に和風カフェの機能と、心字池の景観をゆったりと満喫できる可動式スペースを設置するなど、コロナ禍での状況をみながら開業を目指します。・日本庭園正門付近を中心としたプレイスメイキング（野点傘・和ベンチの配置）**日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツ創造**　・夏の日本庭園や紅葉など、日本庭園が誇る景観を更に魅力的にするための夜間ライトアップを実施する一方で既存イベントの費用対効果と実施意義を検証する事により既存のリピーターだけでなく新規来園のきっかけとなるイベント、コンテンツにより来園者に楽しんでもらう為、集客効果が上がる内容を検討していく。・あらゆる世代に見て頂ける新たな音楽・芸能コンテンツイベントの定期実施・茶室（汎庵・千里庵・万里庵）の呈茶サービス継続実施及び呈茶以外の利用促進の検討・日本庭園散策コース（八景）を活用したガイドサービスの実施※2021年度に実施した内容を基に、22022年度以降更なる観光拠点化を実施する。　・日本庭園内の貸出施設（汎庵）以外にもユニークベニューとしての活用方を検討。 |
| **◆イベント****■指定管理業務イベントについて（開催順）****※新型コロナウイルスの状況により内容は変更****１）桜まつり**□ 開催期間　：３月１９日（土）から４月１０日（日）□ 会　　場　：自然文化園　　□ 実施内容 ：5,500本のさくらが咲き誇り、各種イベントも同時に開催されます。新型コロナウイルスの状況によるが、夜間拝観の実施も検討（17:30～21:00）及び自主事業によるパークタクシーを利用した場周道路の桜の夜間ライトアップ実施を検討日本庭園茶室「汎庵・万里庵」特別公開　　　　　□ 開催期間　：さくらまつり期間中の金土日祝　□ 会　　場　：茶室「汎庵」にて呈茶を開催　　　　　　　　　 芸能イベントとして日本庭園にて日光猿軍団公演　　　　　　　　　 ３月２９日～４月３日　　　　　　　　　 自主事業として日本庭園前にて野菜マルシェの販売実施**２）山野草展**□ 開催期間　：４月３日（日）～４月１０日（日）□ 会　　場　：日本庭園　園芸植物展示場等≪特記事項≫　 約300点の希少な山野草を使った作品が展示されます。山野草苗の販売。相談コーナーも併設。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**３）チューリップフェスタ**　　□ 開催期間　：４月２日（土）から４月17日（日）　　□ 会　　場　：自然文化園　チューリップの花園□ 実施内容　：赤や黄色、色とりどりの約９万本のチューリップが広場一面に咲き誇ります。　　　　　　　　 　斜面には約6,000株のネモフィラ畑が広がり、チューリップをお楽しみいただけます。　　 **４）ポピーフェア**　　□ 開催期間　：４月２日（土）から５月８日（日）　　□ 会　　場　：花の丘□ 実施内容　：花の丘一面に約37万本のポピーが咲き誇ります。今年は一部新品種も導入。約15,000株のアネモネ、約5,000株のネモフィラの他、コーンフラワーやカラシナ等、丘一面の春の花をお楽しみいただけます。 **５）日本の春咲えびね展**　 □ 開催期間　：４月29日（金・祝）～5月３日（火）□ 会　　場　：日本庭園　園芸植物展示場等≪特記事項≫　 希少なえびね草を展示  **６）ローズフェスタ（春期）**　　□ 開催期間　：５月７日（土）から６月５日（日）　　□ 会　　場　：平和のバラ園□ 実施内容　：1970年の大阪万博開催時、世界9ヵ国から平和を願って贈られたバラたちと、最新のバラを取り入れた“極上の癒し空間”として生まれ変わった「平和のバラ園」。 優美なバラの姿はもちろん、豊かな香りもぜひお楽しみください。≪特記事項≫　 バラ苗販売、各種体験会、講習会を共催　　**7）蛍の夕べ　　※中止****8）あじさい祭**　　□ 開催期間　：6月４日（土）から6月26日（日）　　□ 会　　場　：自然文化園　あじさいの森□ 実施内容　：梅雨の時季、万博記念公園をしっとりと彩ってくれるあじさい３０品種、約4,000株が花を咲かせます。≪特記事項≫　 紫陽花を題材にインスタグラムに投稿された写真をホームページに掲載**9）早朝観蓮会**　　□ 開催期間　：７月１日（金）～３日（日）、８日（金）～１０日（日）計６日間□ 開催時間　：早朝6：00から　※入園は16：30まで　※雨天決行、荒天中止　　□ 会　　場　：日本庭園　はす池□ 実施内容　：26品種約1,200株のハスと、７品種約1,000株のスイレンが早朝にきれいな花を咲かせます。午後には閉じてしまう魅力的なハスが一面に咲き誇ります。≪特記事項≫ 象鼻杯は、コロナウイルス蔓延防止の観点から（人の密集及びアルコールの提供）を誘発する為）本年度も中止**10）ひまわりフェスタ**　　□ 開催期間　：７月１６日（土）から８月７日（日）　　□ 会　　場　：自然文化園　チューリップの花園□ 実施内容　：約１0,000株のひまわりの花が咲き誇ります。モネ、マティスなど人気の画家シリーズや赤や白色の珍しいヒマワリもお楽しみいただけます。**11）インターナショナルキャンプ**□ 開催期間　：８月２日（火）～８月３日（水）□ 会　　場　：上の広場、中央休憩所　BBQコーナー□ 実施内容　：自然体験を通して、環境の大切さや自然の仕組みを学習します。野外活動や野外炊飯を体験し自然界の科学も学習。また留学生との英語でのコミュニケーションを体験します。**12）Wonder Experience イルミナイト万博（夏季）**　　　照明・イルミネーション等の設置による夜間演出を実施し、来園者の満足度を高める催事を実施する。本年度は、2021年度開催を中止した日本庭園内の心字池・蓮池のライトアップを有料化で実施することにより、過去と比較して料金に見合ったコンテンツの充実化を図る。併催でフードイベント（夏の屋台）も実施し誘客を図り、より広く日本庭園を知っていただく機会を創出する。開催内容については、事前に大阪府と協議し行政財産使用料等を調整する。　　□ タイトル　：「イルミナイト万博＆アジアン屋台with万博ビアガーデン　2022 SUMMER」□ 開催期間　：８月１１日（木）～８月2１日（日） 1０日間　※雨天決行・荒天中止　　□ 開催時間　：午後9時まで□ 会　　場　：日本庭園中央休憩所、心字池～蓮池の東エリアとその周辺エリア　**13）コスモスフェスタ**　　□ 開催期間　：10月１日（土）から1０月３０日（日）　　□ 会　　場　：自然文化園　花の丘　　□ 実施内容　：色とりどりのコスモスの他、コキアやミューレンベルギア、赤ソバの花が咲き誇ります。イベント開催期間中は、会場となる花の丘近くに売店がないことから、コスモスや花の苗、食物、飲料等を販売する臨時売店を設置します。　　　　　　　　　 開催内容については、事前に大阪府と協議し行政財産使用料等を調整する。　 　≪特記事項≫　強風が吹く会場のため、常に天候対策を取り、来園者の安全対策を実施。**14）ローズフェスタ（秋期）**　　□ 開催期間　：10月1５日（土）から1１月６日（日）　　□ 会　　場　：平和のバラ園□ 実施内容　：1970年の大阪万博当時のレガシーと最新のバラの融合による、美しさと芳醇な香りをお楽しみいただきます。≪特記事項≫　 バラ苗販売、各種体験会、講習会を共催　　**15）紅葉まつり**　　□ 開催期間　：１１月５日（土）から１１月２７日（日）　　□ 会　　場　：日本庭園、自然文化園全域、紅葉渓□ 実施内容　：毎年開催し秋の恒例イベントとなっている「紅葉まつり」を開催。　　　　　　　　　 併催の賑わいイベントも実施します。　　 ≪特記事項≫　日本庭園夜間のライトアップ。11月11.12.13.18.19.20.23.25.26.27の10日間に日本庭園の西側エリアの夜間ライトアップを実施（予定）　　　　　　　　　 ※過去2年間の実績を踏まえ、有料化による更なるライトアップのコンテンツの充実化　　　　　　　　　 を図り、より広く日本庭園を知っていただく機会を創出する。開催内容については、　　　　　　 事前に大阪府と協議し行政財産使用料等を調整する。　　**【「紅葉まつり」併催イベント】**・伝統芸能イベント　　「紅葉まつり」開催期にあわせて、公園の賑わいづくりを演出する伝統芸能を中心としたイベントを開催します。　　 □ 開催期間　：11月の土曜、日曜日の1日程度（予定）　　 □ 会　　場　：日本庭園　中央休憩所　　　　　　　　　　　　 ・日本庭園茶室「汎庵・万里庵」特別公開　　　　　□ 開催期間　：　11月５日（土）から11月27日（日）　□ 会　　場　：　茶室「汎庵」にて呈茶を開催**16）万博公園写真コンテスト**　　 □ 開催期間　：作品応募期間　1０月１日（土）から11月３０日（水）　　　　　　　　　　作品展示期間　12月～３月 　　 □ 会　　場　：日本庭園 中央休憩所 等　　　≪コンテストの題材≫万博記念公園の魅力を表現したもの。　　　≪特記事項≫　各種入選作品は、万博記念公園のイベントポスター、イベントチラシ、 HP、Facebookなどにも利用できるように、募集段階で条件付けを行う。 　　　　　　応募にあたり、応募作品が人物による肖像権や作品の著作権を被写体としている場合、仮に相手方と抗争となった場合は応募者の責任のもと解決する旨を記載。 　　　　　　各写真コンテストの入選作品を展示（推薦1点・特選１点・入選3点・佳作８点・特別賞２点）。また、展示会場には間接照明を用いた空間演出を実施。　　　※インスタグラムを利用した写真投稿サイトを活用したデジタル写真コンテストも実施予定**17）Wonder Experience ウインターイルミナイト万博２０２２**　　～太陽の塔の更なる観光資源化～　　　太陽の塔を中心にイルミネーションによる音と光の演出を実施します。□ タイトル　：「Wonder Experience ウインターイルミナイト万博2022」□ 開催期間　：1２月２日(金)～12月2５日(日)のうち金・土・日　　　　　　　 　　　※雨天決行・荒天中止　 □ 開催時間　：午後9時まで□ 会　　場　：太陽の塔と周辺エリア（予定）□実施予定内容：太陽の塔を中心としたライティングとストリングライトによる光と音の饗宴を実施。万博記念公園駅～中央広場スロープ中央橋のイルミネーション、太陽の広場及び通路のイルミネーション、東大路のイルミネーションなどの通り抜け、太陽の塔（正面）の光と音による演出の実施等を予定。体験コンテンツ等も増やし参加者の満足度を拡充する。太陽の塔周辺では音と光による新たなコンテンツを実施する。例年開催のラーメンEXPOをお祭り広場に誘致し、更なる誘客を図る。また、冬季イベントの感染症対策も徹底し予防する。**18）インスタグラムフォトコンテスト**□ 開催期間　：　１2月１９日（月）～3月1２日（日）　　□会場：万博記念公園□　テーマ：わたしの好きな万博記念公園　　《詳細》万博記念公園の公式インスタグラムをフォローして頂き万博記念公園内で撮影した思い出の写真や魅力を伝える写真を指定のハッシュタグをつけて投稿。入選写真は今後の万博記念公園の　　　　　　広報・プロモーションにも活用し、より公園の魅力をあらゆる世代に伝えていく。**19）梅まつり**　　□ 開催期間　：2月1１日（土）～3月1２日（日）　　　□ 会　　場　：日本庭園、自然文化園　梅林　　≪特記事項≫ 　日本庭園「千里庵」にて呈茶サービスを実施 　　【「梅まつり」併催イベント】　　　・長浜盆売店：期間中の２週間の週末（予定）　　　　過去３年実施の、長浜の新春の風物詩「長浜盆梅展」から盆梅が万博記念公園に登場。　　　・その他民間企業とコラボレーションした賑わいイベントや梅関連商品の販売等を実施・伝統芸能イベント　　　　「梅まつり」開催期にあわせて、公園の賑わいづくりを演出する伝統芸能イベントを開催します。　　　□ 開催期間　：2月1１日（土）～3月1２日（日）　　　　　　　　　　　 ※「梅まつり」開催期間中の土・日曜日に１回実施予定　　　□ 会　　場　：日本庭園　中央休憩所　　　【クリスマスローズイベント】　　　　日程：2023年2月中旬～3月下旬（日程調整中）　　　　　　　　　　開催内容・方法については、事前に大阪府と協議し行政財産使用料等を調整する。　　　　場所：日本庭園中央休憩所/日本庭園前ゲート横コインロッカー（花とみどりの休憩所）前　　　　内容：冬の間、花の少ない時期を美しく彩り「冬の貴婦人」とも呼ばれるクリスマスローズ。　　　　　　　展示＆セミナー＆販売会など、クリスマスローズにまつわるミニイベントを開催　　　　　　　①「クリスマスローズ」新品種等の人気コンテスト　　　　　　　②「クリスマスローズ」寄せ植え陳列/寄せ植え講習会　　　　　　　③「クリスマスローズ」栽培方法講習会　　　　　　　④「クリスマスローズ」の販売会　　　　　　　 **20）つばき祭**　　　□ 開催期間　：2月1１日（土）～3月1２日（日）　　　　□ 会　　場　：自然文化園　つばきの森　　**21）大道芸・各種芸能イベント・楽器演奏会等　（ＥＸＰＯアーティスト）**　　　□ 開催期間　：通年　※四季に咲く花等のイベント開催期間中の日曜日及び祝日を中心に実施。　　　□ 実施時間　：自然文化園・日本庭園の開園時間帯　　　□ 会　　場　：自然文化園、日本庭園内 |
| **◆施設の利活用（利用促進）のための取組み**＜万博クロスカントリー大会＞　 万博記念公園の恒例イベントであるクロスカントリー大会を開催。北摂エリアにおけるクロスカントリーの正式な競技会として実施します。 ※想定参加者数：5000人程度（小・中・高・大～シニアまで）  日　時：20２2年12月２６日　9:00スタート～15:30終了（予定） 会　場：東の広場もしくは運動場発着、園内 主　催：万博記念公園マネジメント・パートナーズ 　＜記念競技場内　トレーニング場＞万博記念競技場内にあるトレーニング場は全面フローリングで壁面にミラーも設置されおり大変魅力的な空間です。引き続きダンススクールやスポーツクリニック等で利用促進を図ります。＜小運動場の料金改定＞南地区・小運動場の料金設定に新たに学割区分設定の協議を実施 |
| **◆樹木管理****１）樹木管理について**各樹種の特性や植栽目的に合った剪定方法を選択し、剪定後の景観や樹形に配慮します。樹木の健全な生育の支障にならないように、適正な時期・適切な剪定作業を行います。園内各地の高木については、各芝生の広場や西地区などエリア毎の利用目的に配慮した剪定を行います。各樹種に見合った自然樹形を目指しつつ、切り戻しや強剪定を行うことで、高さを制限する代わりに側枝の生長を促し、安全な環境の確保、景観の向上を図ります。樹勢の衰退が著しい樹木は、樹勢回復を実施(主に冬季)し、西大路のプラタナス並木については、倒木被害軽減、新しい枝を出しより良い並木景観にするため適切な剪定を行います。病害虫による衰弱木(腐りも含む)を優先的に強剪定、伐採を行い樹林全体の健全化を図ります。**２）万博の森について**大阪府が行う森の育成計画に基づき、森林内については大阪府の指示のもと対応します。今後の森の在り方・活用方法についても大阪府と協議し安心・安全な森創りに努めます。園路沿いの枯損木や緊急対応が必要な樹木については、来園者に危険が及ばないように巡視体制を強化し安全対策を講じたうえで剪定、伐採作業など適切に対応します。事故を未然に防ぐためにも、大阪府との協議をこまめに行いながら管理を行っていきます。**３）樹木診断について**○主要な花木及び銘木日々の巡回等で、樹勢回復等の必要がある樹木については、樹木医の診断を行い、診断結果によって、適切に対処します。① 外観診断：樹木の様々な凹凸や亀裂、隆起など、その状態から健全度を判定します。重大な危険がないと判定されれば調査はここで終了します。② 精密診断：外観診断の結果を樹木医と相談の上、必要だと判断した場合は、レジストグラフなどの器具を使って樹木内部の状況を調査します。生体に与える影響を最小限に止めるようにします。③ 判定：外観診断結果とあわせて、その樹木の危険度を判定します。判定結果を基に大阪府と協議し、治療を計画します。○その他園内樹木上記樹木以外の園内樹木における危険木早期発見に向け、日々の巡回を強化します。日々の点検(日常点検)、月に２回程度の大阪府との合同巡回(定期点検)を行い、作業に関しては、外観診断をもって剪定や伐採などの方向を決めていきます。**◆点検・補修・修繕****点検・補修・修繕に関する基本的な考え方**利用者の安全性・快適性の確保や施設の機能保全を図るため、各公園施設の点検を行い事故やクレームを未然に防ぎます。これまでの経験を踏まえつつ、更なる向上を目指し、管理マニュアルに加えて、「公園施設の安全点検に関する指針（案）」（2015年4月国土交通省）、その他関係法令等に留意して、点検を実施します。各点検については、目的・内容に応じて必要な資機材を用意し適切な点検を行います。なお、点検結果については、速やかに大阪府に報告し、異常又は劣化がある場合に必要に応じて対応措置を行います。また、不具合の規模により大阪府との協議が必要な場合は、速やかに書面にて状況を報告・協議を行い不具合の早期解決に向けて行動します。公園は、健康・レクリエーションや癒し・やすらぎの場を提供する施設であることから、基準に定められた点検・補修・修繕などを着実に実施し機能確保することはもとより、より安全で安心・快適な公園となるよう、公園管理に携わる全ての関係者が専門的な知識の習得や意識の向上を図ります。※点検については、別紙・「様式3号２-(４)実施工程表」をご参照願います。※補修・修繕については、別紙・「様式3号-1-(6)補修・修繕計画書」をご参照願います。 |
| **◆投資の履行 及び収支の状況**※今後の投資について要協議。修繕・改善などが必要な投資のみ実施。 |